

令和5年度 地域に飛び出せ大学生！

おかやま元気！集落研究・交流事業 報告書 ～ダイジェスト版～



六島まちづくり協議会



satoshi の研究室



岡山学院大学 平野聡研究室 一同

○六島地域×岡山学院大学（平野研究室）活動内容

（１）六島地区の課題

笠岡諸島最南端の六島は人口 50 人を切り、担い手不足によるコミュニティの維持が大きな問題となっている。六島まちづくり協議会では積極的に外部の人材確保・関係人口増の観点から関係人口を含めた島づくり事業を展開している。その中で、島の存続のためには、地域資源をうまく活用し、島への観光客の受入れによる地域の活性化が今後の課題となっており、新しい農産物の栽培（レモン・ハーブ）も進めている中、これら農産品や海産品を活用した観光客をターゲットとしたコンテンツ作りが必要となっている。

（２）研究室の調査・研究内容

六島の課題である①観光地としての魅力の発信、②居住地として魅力の発信を「食」を通しておこなう。具体的には、多様な価値観を持つ大学生が訪問・調査し、農産品や海産品を活用し、特産品を使用した「**島御膳**」および製品開発を目指す。

参加学生：15名（4学年 4名、3学年 6名、2学年 5名）

現在活動状況：5月 六島まちづくり協議会の皆様との顔合わせ・ミーティング

6月 資源調査・周辺環境整備（草刈り活動への参加）

7月 島御膳（夏版）考案に向けた調査および試作

8月 島民や島に興味がある方を対象にした学生食堂の開店

9月 六島塾1回目の参加

10月 六島塾2回目の参加

11月 六島塾3回目の参加



6月 資源調査・環境整備（草刈り）

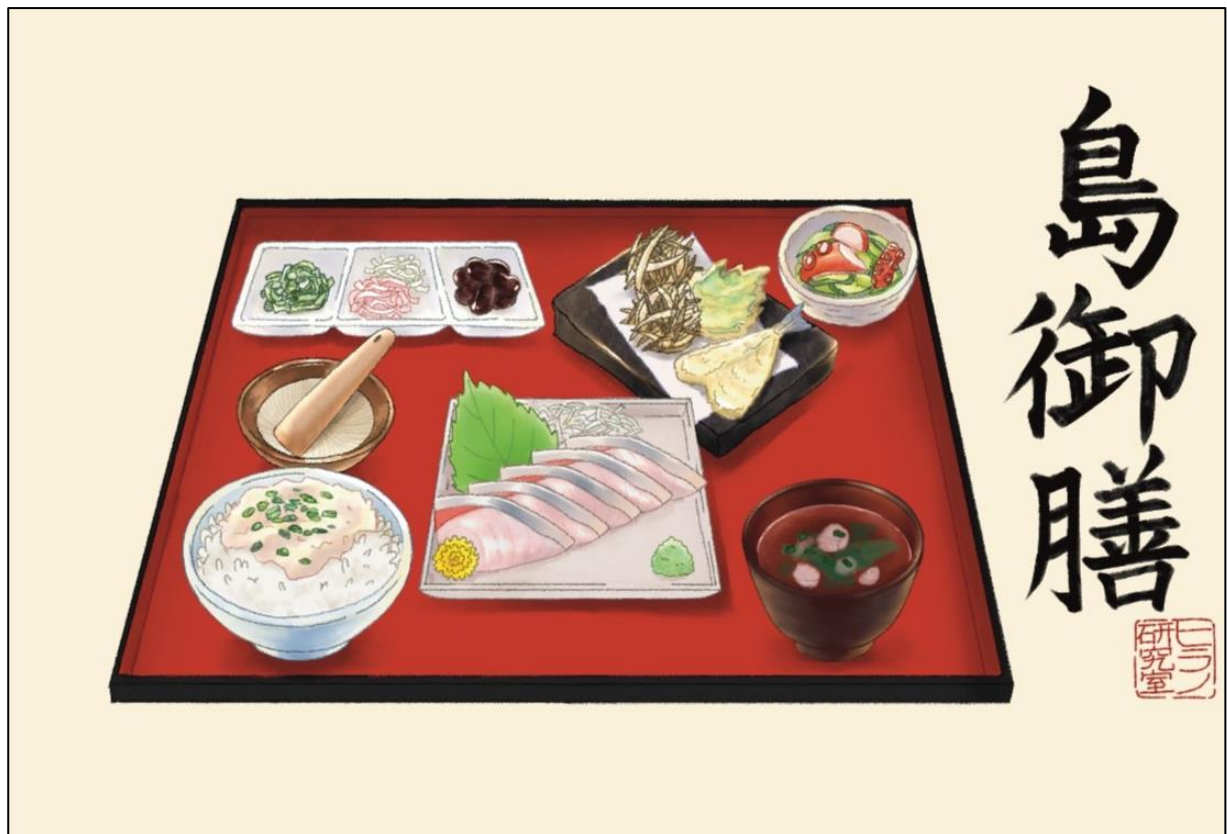


8月 空き家を活用し学生食堂(カフェ)

※「地域に飛び出せ大学生！おかやま元気！集落研究・交流事業」概要

おかやま元気！集落における各種課題について、地域と協働して現状把握、課題分析を行い、課題解決や地域活性化に向けた実践的な手法の検討に取り組む大学の研究室等の研究活動を支援し、若者の視点や発想を生かした課題解決・地域活性化方法の企画立案等の実施により、中山間・地域の活力創出に向けた裾野の拡大を図る。

(3) 島御膳 概要



【コンセプト：美しい六島 で 味わう ～Landscape ランドスケープ～】

主 食：郷土料理 さつま

主菜1：瀬戸内海のお刺身

主菜2：天ぷら（白身魚・ひじきとじゃこのかき揚げ）

汁 物：お吸い物

小 鉢：たことわかめの六島ぽん和え

香の物：しょうゆ豆（香川）・削りかまぼこ（愛媛）・広島漬け（広島）

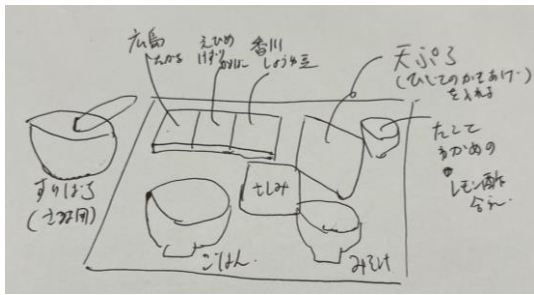
(4) 島御膳の活用案

- ・六島で開催される催し時に提供する。
→六島まちづくり協議会の関係人口として継続的に活動する。

ランドスケープ（Landscape、景観、風景）は、日常生活において風景や景色を構成する諸要素。ある土地における、資源、環境、歴史などの要素が構築する政治的、経済的、社会的シンボルや空間であり、分野を横断して学際的かつ国際的である。

または、そのシンボル群や空間が作る都市、場所や地域そのもの、地域環境。

その他資料



以上